

地域と地球と未来を繋ぐ
『GREEN BUSINESS PRODUCERS』
取り組みのご紹介



GREEN BUSINESS PRODUCERS

GBPについて

GBPプロジェクトの目的

環境問題という世界レベルの課題に対して、地域からビジネスの力で課題解決に向けて活動する
『グローバルリーダー（Green Business Producers）の育成・共創活動支援』



グローバル視点

世界の情勢・動きを理解
世界包括的な施策検討

GREEN BUSINESS PRODUCERS

実践型ビジネススクール&オーディション 主催：自然電力



ローカル視点

地域の情勢・動きを理解
地域内での施策検討

ビジネス視点

新規事業構築スキル
経営スキル

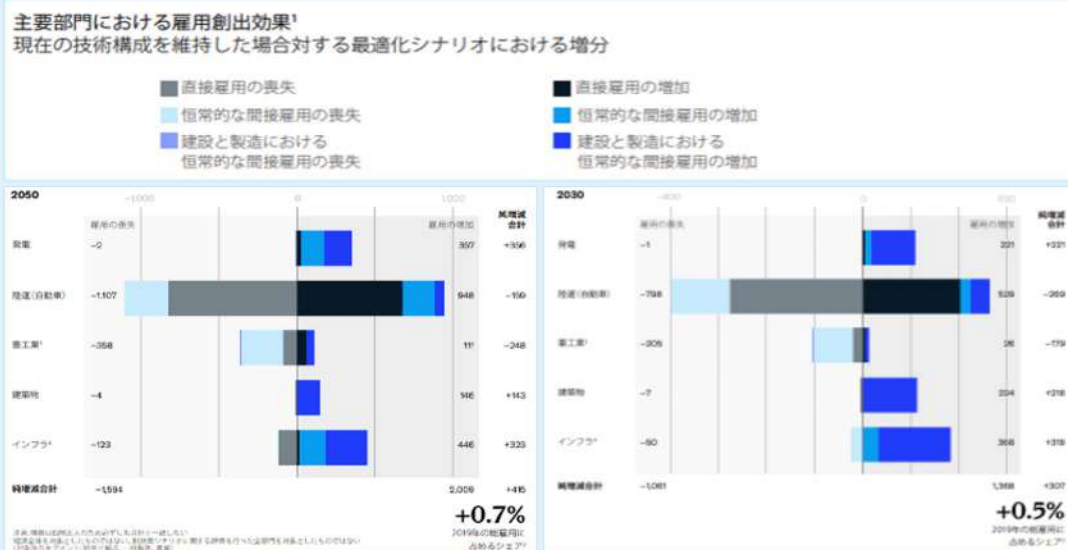


【背景】なぜグローバルリーダーが必要なのか

- 地域において産業を創出し、脱炭素をはじめとするグリーンビジネスと地域をつなぐコーディネート人材の育成・確保が急務（地域目線では地域課題解決と連携したインパクトスタートアップの創出）
- AIなどの新技術、脱炭素化により雇用喪失可能性のある地域人が増えるという未来予測への対応として、人材の学びと経験の場、トランジションへの道筋を示す「牽引人材」が地域に必要

脱炭素化に向けたエネルギー分野の雇用拡大

脱炭素化の動きが強まりエネルギー分野における雇用が拡大する中で、リスキリング/再教育による職務転換が求められる。



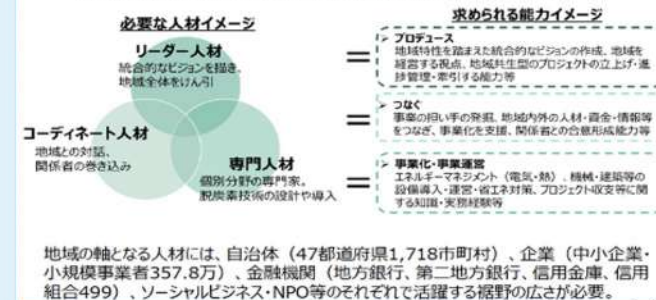
Mckinsey&Company 「日本の脱炭素化 - 2050年に向けた展望」より抜粋

地域で事業を推進する人材不足

地域で脱炭素を進める即戦力人材の育成確保が必要。特に課題の発見から、事業化、関係者との合意形成を包括的にリードできるコーディネート人材が求められている。

● 特に地域では、脱炭素を進める人材が不足

- 地域の脱炭素を推進するため、脱炭素技術と地域をつなぐ人材の育成・確保が必須。
- 構造変革に伴う地域雇用・地域経済への影響に係る懸念もある中、脱炭素技術の知識に加え、地域デザインの能力、関係者との合意形成能力が必要。



環境省「炭素中立型の経済社会変革に向けて（中間整理）」より抜粋

【背景】なぜグローバルリーダーが必要なのか - レイヤーの整理 -

グローバルとローカルの両方を理解した上で、ローカルの規模感や事情に即した形で具体的な提案や事業をインストールしていく「ミドルレイヤー人材」が圧倒的に足りていない。



GBPの受講を通して身に付くスキルと意識

地域・社会・環境の複雑な課題に対応するためには、知識や情報だけではなく『周囲を巻き込み、最後までやりきる、やり続ける』ための、グローバルリーダーならではの様々なスキルと意識が求められる



構想力

地域における様々な課題や利点などをしっかりと調査・理解し、事業化させるための企画構想力



戦略・戦術力

課題解決の最適なアプローチ方法を見出し、そこから地域に合ったやり方で戦略的に現場に落とし込む戦術力



説得力

ステークホルダーやパートナー、仲間を説得し、各自が納得感を持って共創へと向かえるための巻き込み力



統合力

異なるバックグラウンドや価値観を持つ様々な関係者同士を繋ぎ、意見をまとめてあげるためのリーダーシップ（統合）力



成果へのこだわり力 実行力

課題解決に全力で向き合い、また最高のアウトプットを出すために努力を惜しまない、結果にコミットするこだわり力

これらのスキルを引き出すための「座学・対話・チームワーク・実証フィールド」があるのがGBP



代表理事 / GBP事業責任者

瀧口 直人 (フェルナンド) 自然電力株式会社 執行役員 事業企画部長

慶應義塾大学を卒業後、三井物産株式会社に入社。
スペイン、ドイツ、アメリカでの駐在経験などを通じ、グローバルの様々な産業との接点を持つ。特に新規事業開発を得意とし、2010～2014年に再生可能エネルギー事業室長として国内再エネ黎明期に日本初の再エネ年金ファンドや東日本大震災被災地初となるメガソーラーの建設などに関与。
2021年12月に自然電力に転職。執行役員として再エネを通じて日本の地域を活性化することを目指す事業企画部を設立。
座右の銘は「常時笑顔」。人生のモットーは「Help next generation get to the right place!」。



副代表理事
運営責任者
プログラム設計
小田切 裕倫



副代表理事
事務局長
低引 稔



副代表理事
運営管理者
武山 真紀



PR
マーケティング
竹田 千裕



運営ディレクター
コーチ
大森 愛



アドバイザー
堀口 正裕

2期について プログラム

2023年10月 ~ 2024年3月末まで

約半年のプログラムを実施

実践型スクールとして

対話と地域フィールドを重視

GBP講義の“特徴”

- ・ 地域との対話、交流重視のオフサイト研修
- ・ 事業や学びの成長を助けるネットワーク
- ・ 本気で向き合うサポートチーム
- ・ 参加者の属性に合わせてカスタマイズする講義
- ・ 生徒同士のグループディスカッション
- ・ 講師陣やメンターとのディスカッション
- ・ グローカルに学び、地域に挑戦できるフィールド





古田 秘馬
株式会社umari 代表
プロジェクトデザイナー

東京都生まれ。慶應義塾大学中退。東京・丸の内「丸の内朝大学」などの数多くの地域プロデュース・企業ブランディングなどを手がける。農業実験レストラン「六本木農園」や和食を世界に繋げる「Peace Kitchenプロジェクト」、讃岐うどん文化を伝える宿「UDON HOUSE」など都市と地域、日本と海外を繋ぐ仕組みづくりを行う。現在は地域や社会的変革の起業に投資をしたり、レストランバスなどを手掛ける高速バスWILLER株式会社やクラウドファンディングサービスCAMPFIRE、医療法人の理事などを兼任。

キックオフ登壇
課題壁打ち
審査委員長



細野 真悟
株式会社ローンディール
最高戦略責任者
ビジネスデザイナー

新卒でリクルートに入社。リクナビNEXT、リクルートエージェントなどのサービス企画担当を経て、リクナビNEXT編集長、執行役員に。自ら実践を通じてイノベーションを起こすためのマネジメントスタイルの開発に取り組む。大企業がイノベーションを起こすためには「ベンチャーでのビジネス開発経験」が有効、しかしその機会が乏しいという課題意識を持っている中でローンディールと出会う。2017年からCSOとして参画。音楽SNSを手掛ける(株)nana musicを始めとするベンチャー数社の戦略顧問も兼任。

オンライン講座
課題壁打ち



斉藤 徹
株式会社ループス・
コミュニケーションズ 代表

2016年、学習院大学経済学部特別客員教授に就任。2020年、ビジネス・ブレイクスルー大学経営学部教授に就任。専門分野は組織論と起業論。30年におよぶ起業家経験をいかし、Z世代の若者たちとともに、実践的な学びの場、幸せ視点の経営学とイノベーションを世に広めている。2019年には、ライフワークとして、幸せ視点の経営学を学ぶオンラインの生涯学校「hintゼミ」を創設した。1000名を超える卒業生とともに、新しいコンセプトの「生涯続くラーニング・コミュニティ」を手づくりしている。

オンライン講座
リーダーシップ



安齋 勇樹
株式会社MIMIGURI
代表取締役Co-CEO
東京大学大学院 情報学環 特任助教

東京都出身。私立武蔵高校、東京大学工学部卒業、東京大学大学院学際情報学府博士課程修了。博士（学際情報学）。ウェブメディア「CULTIBASE」編集長。企業経営と研究活動を往復しながら、人と組織の創造性を高めるファシリテーションの方法論について探究している。主な著書に『問いのデザイン：創造的対話のファシリテーション』、『問いかけの作法：チームの魅力と才能を引き出す技術』、『リサーチ・ドリブン・イノベーション』、『ワークショップデザイン論』などがある。

オンライン講座



枝廣 淳子
有限会社イーズ 代表
ブルーカーボン・ネットワーク代表

オンライン講座
脱炭素・対話

東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。『不都合な真実』（アル・ゴア氏著）の翻訳をはじめ、環境・エネルギー問題に関する講演、執筆、企業のCSRコンサルティングや異業種勉強会等の活動を通じて、地球環境の現状や国内外の動きを発信。持続可能な未来に向けて新しい経済や社会のあり方、幸福度、レジリエンス（しなやかな強さ）を高めるための考え方や事例を研究。「伝えること」で変化を創り、「つながり」と「対話」でしなやかに強く、幸せな未来の共創をめざす。



平井 一步
シティラボ東京ディレクター
一般社団法人アーバニスト専務理事
認定NPO法人日本都市計画家協会理事

オンライン講座
エリアM・対話

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科。都市計画コンサルタントとしてまちづくりビジョンの策定などに従事、大学の産学官連携コーディネーターとしてまちづくり・ものづくりに係る地域連携に従事し、現在に至る。日本都市計画家協会理事として三陸の復興まちづくり支援も行ってきた。



川島 悟一
自然電力
未来創造室エキスパート

オンライン講座
CN・対話
課題壁打ち

東北大学大学院理学研究科博士前期課程修了。2001年、荏原製作所に入社、環境・エネルギーに関する新規事業開発。2006年、博報堂にて、地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」の企画・ディレクション。2007年、環境コンサルタントとして独立し、企業や地方行政の温暖化対策の立案。2009年、内閣府にて「新しい公共」のための環境整備となる政策立案。2013年、自然電力に入社。太陽光開発、電力協議、小水力・バイオマス開発、電力小売事業などを担当。現在、中長期的戦略、政策渉外、新規事業などに従事。



浪越 隆雅
マイファーム 専務取締役

オンライン講座
0→1
課題壁打ち

1984年 香川県三豊市生まれ（偶然）マイファームへは2011年に参画。マイファーム創業期から、体験農園事業、農業教育事業、流通事業、生産・コンサルティング事業等、各事業の立ち上げに寄与し、農業における、「趣味→職業」の領域まで、幅広く関わる。現在は、その経験を活かしながら企業や行政を対象とした農業アドバイザー業務を実施。農業分野だけでなく、地域活性の領域でも取り組みを進めている。将来の夢は、世界の農に新しい常識をもたらすこと。



磯野 謙
自然電力 代表

オンライン講座
脱炭素・対話

自然電力株式会社 代表取締役/共同創業者。大学卒業後、風力発電会社を経たのち、東日本大震災をきっかけに自然電力を設立。日本を含む8カ国で再生可能エネルギー事業を手がける。Forbes JAPAN主催「日本の起業家ランキング2023」にて2位に選出。



堀口 正裕
TURNS プロデューサー
第一プログレス 代表取締役社長
総務省 地域力創造アドバイザー

キックオフ登壇
課題壁打ち

国土交通省 二地域居住等の推進に向けた有識者委員、地域づくり表彰審査委員等、地方創生に関連する各委員を務める他、地域活性事例に関する講演、テレビ・ラジオ出演多数、全国各自治体の移住施策に関わる。東日本大震災後、豊かな生き方の選択肢を多くの若者に知って欲しいとの思いから「TURNS」を企画、創刊。地方の魅力は勿論、地方で働く、暮らす、関わり続ける為のヒントを発信している。プライベートでは、畑と合気道をこよなく愛する4児の父。



オンライン講義は平日の夜（20:00～）

オフサイト研修は週末（金、土、日）

リアル研修

**10/20(金)~
10/21(土)**

キックオフ
| 東京 |

昼~夕方

**12/1(金)~
12/3(日)**

オフサイト
| 唐津 |

昼~夕方

**1/26(金)~
1/28(日)**

オフサイト
| 東松島 |

昼~夕方

3/30(土)

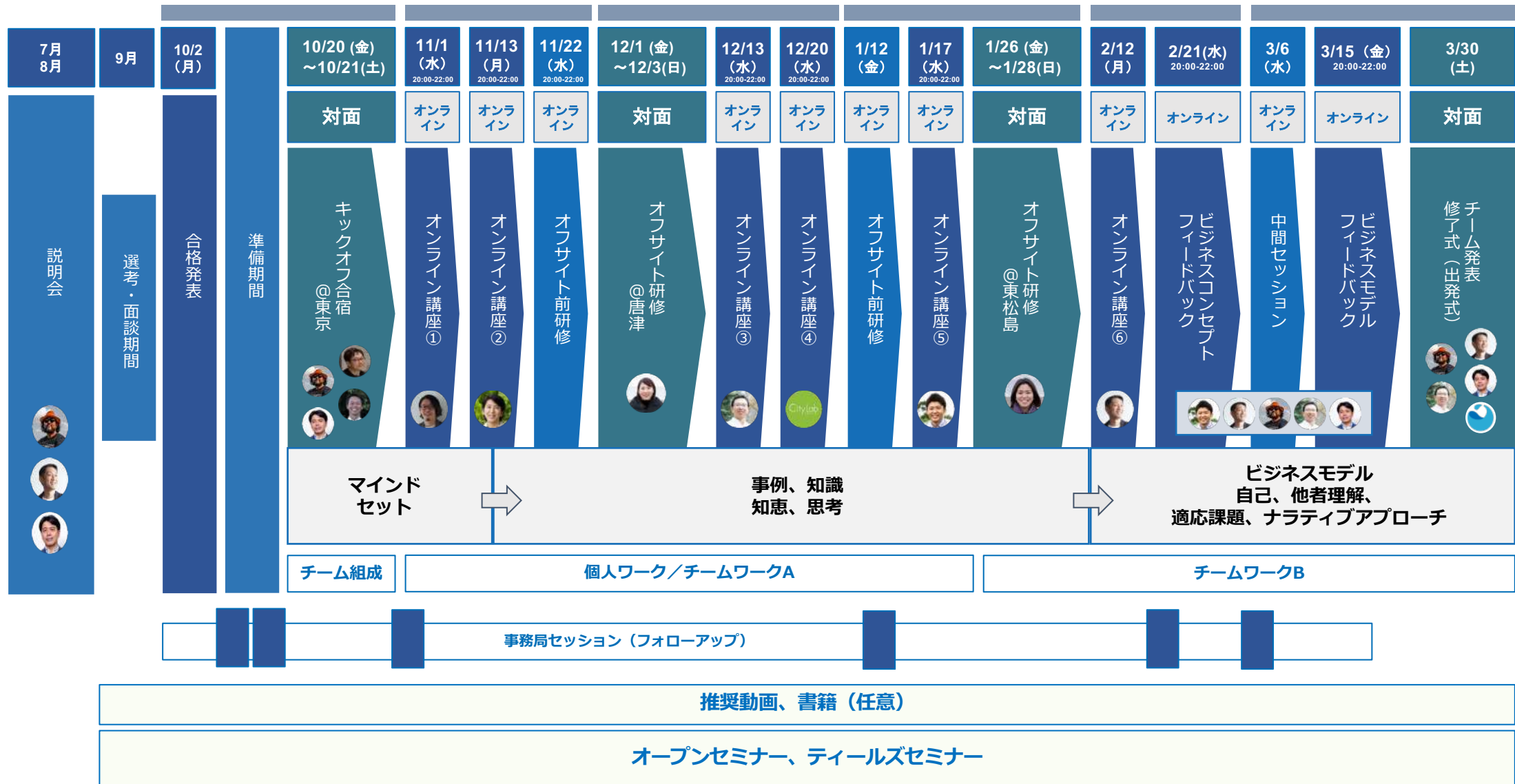
修了式・出発式
| 東京 |

10時~18時

※時間は目安です

プログラムスケジュール Program

0730時点 (調整中につき変更する場合があります)



チューニング

インプット — 対話 — アウトプット

事前情報をもとに、受講生それぞれがオフサイト研修地に対する自分なりの明確なイメージや仮説、疑問点をもって現地に入り、その解を自ら（仲間と、地域人と）見つけて、事業コンセプトを策定。

地域で活動するプロデューサーやプレイヤーをはじめ、学生や生活者、自治体職員や中間支援者、など幅広く地域における取り組みや考えに触れます。受講生はそこに関わる人々や地域との関わりしろを見出し、実践（グリーンビジネス）に結びつけていきます※。

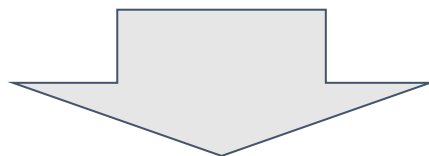
※オフサイト研修を通して、自分自身として解決（関与）したい地域課題と阻害要因を明確にした上で、あるべき姿に向けたビジネスコンセプトの策定に取り組みます。



共に未来を目指し、汗をかく「パートナー」



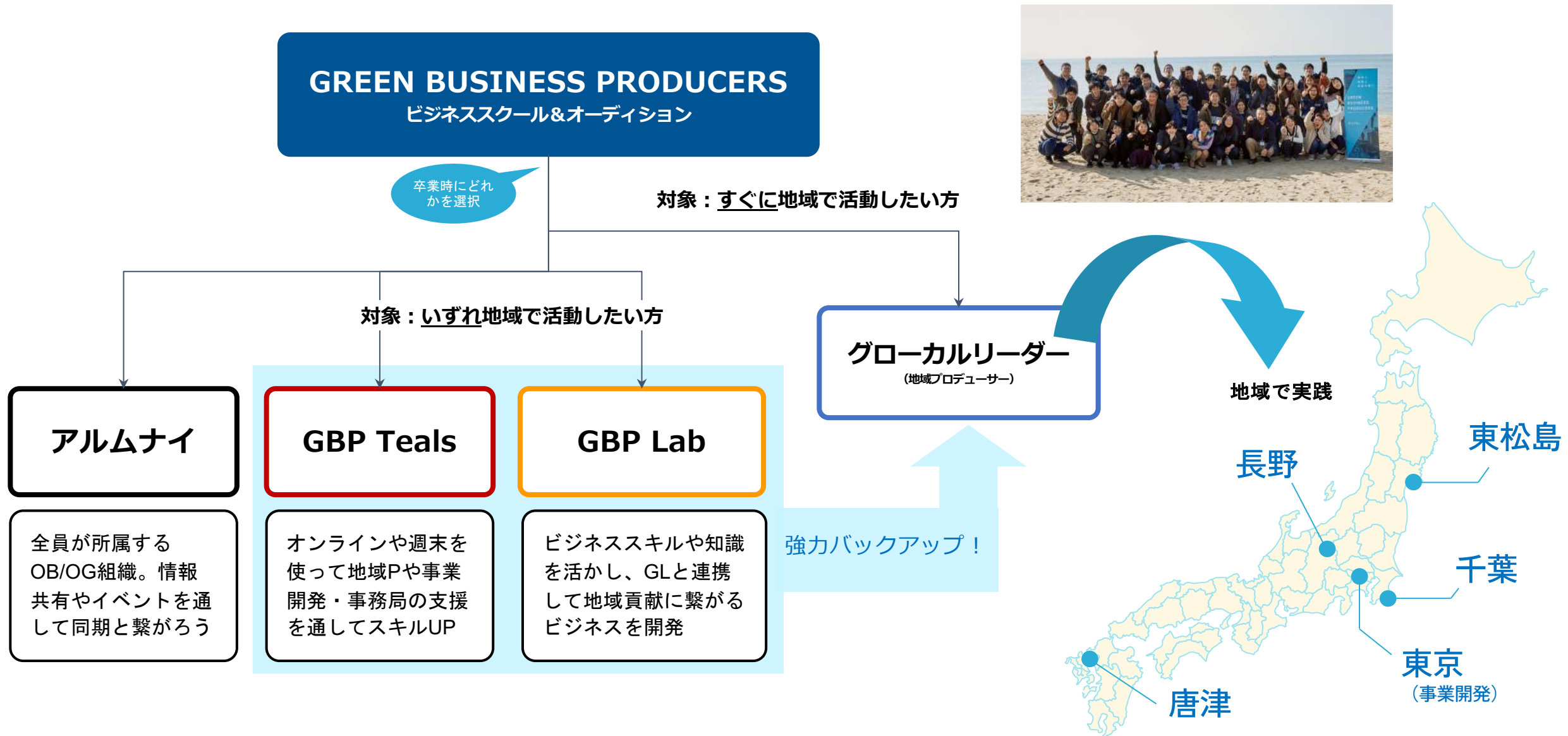
7月11日時点



特別講義や共創プロジェクトを予定

修了後について

出発後の活躍フィールド（役割）とそれぞれの関係



アルムナイやティールズ、グローバルリーダーの様子



#05 たらい舟でも渡れちゃう!? 橋が渡せない海峡で佐渡との架け橋に ～岡崎空～



未来を自ら創り出し、
地域課題に果敢に取り組む
意志を持つあなたの
応募をお待ちしています！



← 応募はこちらから！

応募締切

8月31日（木）23:59

